

トッレキアラ (Torrechiara)

前日に、ロンバルディア州の山々を巡りましたので、この日はパルマの南の山々の方向に足を向けました。トッレキアラは無印の村です。と言っても、パルマ・ピアチェンツァ周辺のお城では推薦されているところですので観光地なのです。この日は最高の天気でしたので、観光客も多く賑やかな観光地となっていました。数あるパルマ・ピアチェンツァ周辺のお城の中から、一番格好の良いお城を選んだだけあって、城の外観、内装ともとても素晴らしく満足できました。しかし、イタリアには本当に教会と城が掃いて捨てるほどあります。どこに行くかは自分でよく調べて満足できるところを確認してから行くようにすべきだと思います。今回は、土曜日でも今日も大あたりでした。

イタリアの城はずいぶん見て歩きましたが、トッレキアラの城は、一番保存状態が良いように感じました。この城は、それ以前にあった城の上に **Pier Maria Rossi** によって 14 世紀の中旬に建てられたのですが、当初から、戦うために造られた城としてだけではなく、彼の愛人である **Bianca Pellegrini** の住まいとして設計されていたそうです。従って、他のほとんどの城がそうであるように、戦うための造りから住居としての造りにするために大幅な改修をしないといけないのですが、この城は、ほとんど改修の必要がなかったため、当時の姿と状態が最大限に維持されているとのこと。

パルマからここまではタクシーで来たのですが、ずっと平野を走り、最初の山にこのトッレキアラがあります。従って、その山の上に建つ美しい城は、遠くからも見ることが出来、この城の周り一面の葡萄園は、如何にも温暖で長閑な地域であることを証明しています。これらの事実以上に、何故、ここに城を建てたのかを説明する必要はないと思います。愛人のために、一番良いところに城を建てたのでしょね。機会があったら、この 2 人のラブストーリーも調べてみたいものです。



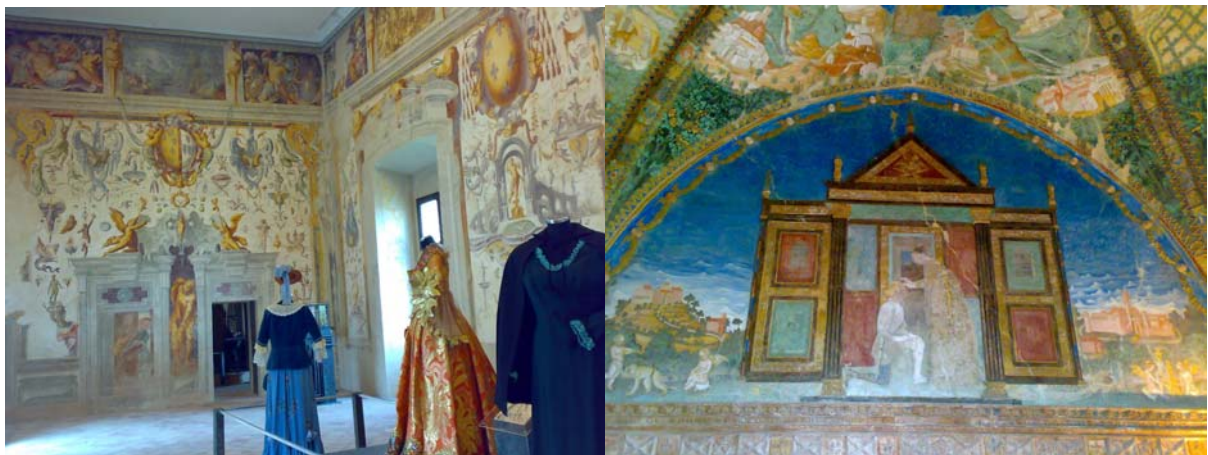
城に登る前の麓には小さな村があり、そこにはある観光客用のレストランが繁盛していました。そこから坂道を 50 メートルほど行くと城の入口の門があります。城壁の中には昔からの教会ともう一つの小さな村があり、今では、ここも観光客用のレストランになっています。また、ツアーリスト・インフォメーションもここにあり、英文のパフレットが準備されていました。この小さな村は、完全に城の一部として城壁で囲まれて守られています。一つ一つはそれほど大きな建物ではありませんので、ここは、きっと、城の雇用人の住居だったのかもしれませんが。この城を愛人の住まいとしたのですから、ここにも不自由な生活にならないような配慮が見受けられます。また、村の一番奥には同時代に建てられた小さなお墓まであります。



村を一回りして、いよいよ城の中に入ります。この日は、理由はわかりませんが、普段は 5 ユーロの入場料が無料になる日でした。チケット売場の女性はその理由を説明してくれたのですが、イタリア語ですので意味不明です。とにかく、只なので礼を言って中に入りました。ミラノの城に比べるとそれほど大きな城ではありませんが、堂々とした立派な城です。入口こそ狭くいくつもの門でガードをされていますが、今までみた城のように城壁にトーチカや、銃口の穴がありません。戦争の時はどこに兵器を設置したのでしょうか。やはり、この城は戦うことよりも愛人のことを考えて建てられたようです。特に、この日は天気の良い日でもあり平和なムードを感じてしまう奇妙な城でした。城内に入る入口の前は大きなテラスになっていて、そこからの景色は青い空と輝くような緑です。太陽の光を浴びてそれが目にしみました。このお城は、現代の人々を癒すために造られたのではないかと感じずにはられませんでした。



城の中に入ると、なるほど、城の外観から少しだけ感じる戦いのイメージは更に薄らぎ、愛人が住むのによりふさわしいことが理解できます。中庭には井戸があり、まるで平和な村の広場のようです。部屋の中には15世紀のフレスコ画が残り、それも平和な内容の絵なので、ここが城の中であることを忘れさせてくれます。また、愛人が着ていたのでしょうか、婦人用のドレスとアクセサリが展示されています。何故か、美しい日本の着物までありました。実は、インターネットにフレスコ画は地震のダメージで改装中であると書いてあったのですが、改装中なのは、一部の外表面だけでしたので、心配には及びませんでした。また、城の中は写真撮影禁止ですが、観光客は、カメラではなく携帯電話で写真を撮っています。それに倣って、こちらも携帯電話で写真を撮ってきました。





トッレキアラはパルマの南 18 キロほどの位置にあります。上記にありますように、パルマの町を出て長閑な平野を抜けて、最初の山の上にこの城がありますので、遠くからでも良くわかります。パルマからトッレキアラまでのバスは、普段なら 1 時間間隔であります。日曜日は 1 日に 2 本しかありません。従って、パルマまでの戻りにバスを利用することにして、行きはパルマの駅からタクシーを利用しました。パルマの駅に着いたのは 11 時前で、駅構内のタバッキでパルマとトッレキアラ間のバス・チケットを片道分だけ購入し、駅前のタクシーに乗ってトッレキアラに向かいました。タクシーの所要時間は約 20 分で料金は 28.8 ユーロでした。バスの片道料金が 2.35 ユーロですから、やはり、タクシーは高くつきますね。でも、時は金なりですので、時間を有効に使いました。

トッレキアラの城の入場料は、通常は 5 ユーロです。朝の 10 時半から夕方 6 時半までオープンしています。ここはイタリア人団体客が観光バスで訪れるような観光スポットでしたので、レストランだけでなく城の中も大勢の観光客が入っていました。

パルマへの戻りは、TEP バスで約 30 分です。州道からトッレキアラに侵入する州道沿いにはレオーネ広場（観光客の駐車場になっていました）があり、その角にあるピッツェリアの前にバスの停留所があります。観光客がこれほど多かったのに、ここから 1 日 2 本しかないバスに乗ってパルマに戻ったのは、私以外には誰もいませんでした。でも、このピッツェリアのマルゲリータは最高でした。